



3月11日の東日本大震災、7月29日の新潟・福島豪雨により福島県や会津坂下町も大きな被害を受けました。このような状況の時だからこそ私たち新成人が社会を引っ張っていかなければならないのだと思います。周りの方々と協力し合って粘り強く困難に立ち向かうことのできる大人になりたいと思います。

会津坂下町で育ったという誇り、そして、成人としての自覚と決意を忘れずに、これからの人生を力強く歩んでいくことを誓います。



平成23年度の成人式が8月15日会津坂下町中央・坂下公民館で行われ、新成人の新たな門出を祝いました。今年の新成人は235名、式典には176名（男性84名、女性92名）が出席しました。

地元に残る新成人で実行委員会を設け、企画・運営を行い、「思い出のあの日」と題し、パソコンによるスライドショーの上映や、恩師の先生方と実行委員と一緒にキャノン砲での祝福を行いました。

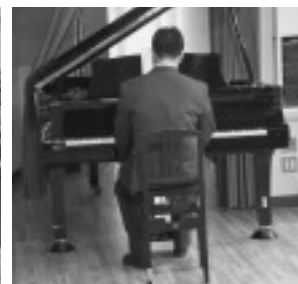
また、中高生のボランティアが受付・案内誘導やアンケート調査の係員を務めました。



成人式実行委員のみなさん



赤崎未来さん 荒堀 彩さん 田中夏紀さん 佐藤孝亮さん
佐藤佑樹さん 永山大輝さん 栗原裕太さん





平成23年度成人式アンケート結果

成人式当日、新成人の方へアンケートを実施しましたので、その結果についてご報告いたします！

○ 回答者数 114 名（男性 47 名 女性 67 名） 回答率 64.8%（男性 56.0% 女性 72.8%）

○ 成人式に参加してどうでしたか？

同級生と再会でできて楽しかった	65.2%	特に何も思わなかった	1.5%
成人したという実感が湧いた	33.3%	必要性を感じない	0.0%

○ 成人式はいつ開催したほうが良いですか？

お盆(8月15日)	67.3%	成人の日の頃	11.5%
正月頃(1月2,3日)	19.5%	ゴールデンウィーク	1.8%

○ どのような成人式典ならいいと思いますか？

今日の様な式典が良い	68.0%	同窓会を主体とする式典を行う	7.8%
もっと簡単な式でよい	3.9%	成人と行政が協力して式を行う	5.5%
イベント色を強めた式を行う	14.1%		

○ 新成人の声

「十二分に楽しかったです！」

「懐かしかった」

「社会の役に立てる成人になります！」

★新成人の皆さん！アンケートへのご協力ありがとうございました！



成人式に出席できなかった新成人の方へ

成人式当日、出席できなかった新成人の方の成人証書等資料を中央公民館にて平成 24 年 3 月末日まで保存しています。成人証書資料が欲しい方は中央公民館までご連絡ください。

(中央公民館 TEL 0242-83-3010)



新農業委員会委員紹介

会津坂下町農業委員会委員が改選されました。

7月5日告示の農業委員会委員一般選挙は、12名の方々が無投票で当選し、7月11日、当選証書が交付されました。

また、この度の任期満了に伴い農業協同組合・農業共済組合・町議会・土地改良区から新たに推薦された6名の農業委員が加わり、総数18名で構成されております。第1回農業委員会総会において、会長に小熊繁三郎氏、会長職務代理者に笹島一英氏が選任されました。任期は、平成23年7月20日から平成26年7月19日までです。

【会長あいさつ】

この度、第1回農業委員会総会で会長職を賜りました小熊繁三郎です。会長という職責の重さに身の引き締まる思いです。

福島県は今般の東日本大震災により、地震、津波、東京電力福島第一原子力発電所事故、そして、風評被害の四重苦を強いられています。

農業者としては、原発事故が一刻も早く収束し、「安全、安心な農産物」が生産できるよう強く望みます。

こうした厳しい環境の中、農業委員会は、この難局を乗り越えるため農業者の代表、代弁者として、その重要な使命を認識し地域農業発展に向けて、優良農地の確保と有効利用に多くの声を反映させながら、微力ながら全身全霊を傾けて参りますので、よろしくお願い申し上げます、就任の挨拶と致します。

会長職代理者



笹島 一英
高寺地区(選挙)

会 長



小熊繁三郎
金上地区(選挙)



若木 博泰
金上地区(選挙)



新井田幸吉
若宮地区(選挙)



芳賀 洋一
広瀬地区(選挙)



角田 藤江
金上地区(議会)



大堀 恒雄
若宮地区(選挙)



小林 哲美
坂下地区(選挙)



田崎 幸男
若宮地区(選挙)



水野 孝一
広瀬地区(議会)



五十嵐昭一
広瀬地区(選挙)



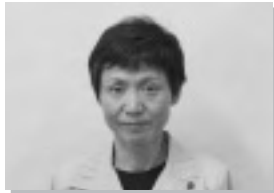
加藤 健
高寺地区(農協)



林出 豊信
川西地区(選挙)



石田 栄
金上地区(共済)



堀 秀子
広瀬地区(議会)



佐瀬賀一郎
広瀬地区(選挙)



渡部吉広
八幡地区(選挙)



福地義廣
八幡地区(土改)

ガラスバッジ（放射線積算線量計）を希望者に配布します

東日本大震災による原発事故の長期化に伴い、自身が受けている放射線を測定したいなど、町民の関心が高まっています。また、妊婦や子どもを持つ親の不安の解消は、子どもを健やかに生み育てるためにも重要な課題となっています。

そこで、子どもたちや妊婦の方が安心して生活でき、また、自身の積極的な健康管理につなげることができるよう、日常生活の放射線量を測定するガラスバッジ（放射線積算線量計）を希望者に配布します。

積算線量計配付の案内は、町立の学校等を通して行っています。また、それ以外の方については、郵送にて通知いたしました。配布対象者の方で、通知が届いていない場合は、ご連絡ください。

なお、配付対象者は、町内に居住する15歳未満者（中学生以下の子ども）及び妊婦の方々です（町内に避難されてる方も対象となります。）。



【ガラスバッジ（放射線積算線量計）Q & A】

Q1：ガラスバッジとは、どんな目的で作られたものですか？

A：ガラスバッジは、個人が受けた放射線の量を（外部被ばく量）を測定し、個人線量を算定するために作られた小型の積算線量計です。

Q2：ガラスバッジ本体に数値は表示されるのですか？

A：バッジ本体には、放射線量の数値は表示されません。回収されたバッジを専門業者が測定し、算出した放射線量の数値を保護者に報告します。

新潟・福島豪雨の爪跡

7月29日の夕刻、連日の雨により只見川の水位が上昇し、八幡・高寺地区の4集落に避難勧告が出され、住民の方々は各集会所で不安な一夜を過ごしました。

片門地区では、堤防の水門ゲートを閉めたため地区の内水で旧片門小学校の校庭まで水位が上がり、家屋の床上浸水、床下浸水の被害があり、水害の恐ろしさを改めて感じさせられました。



新潟・福島豪雨被害状況一覧

区 分		世帯数	被 害 状 況
人的被害			人的被害はなし
住家被害	床上浸水	7	高寺地区7件
	床下浸水	9	高寺地区4件、坂下地区2件、広瀬地区1件、八幡地区1件、若宮地区1件
非住家被害	床上浸水	2	高寺地区2件
	床下浸水	3	高寺地区1件、八幡地区2件
停 電	6集落	199	和泉、片門、舟渡、天屋、本名、洲走

住民避難

避難区分	地区名	対 象 世帯数	対象人数	勧告日時
				解除日時
避難勧告	片門	55	200	7月29日21時
				7月31日8時
避難勧告	和泉	23	97	7月29日22時9分
				7月30日16時
避難勧告	平井	25	80	7月29日22時9分
				7月30日16時
避難勧告	舟渡	58	200	7月29日22時9分
				7月30日16時
合 計		161	577	



東日本大震災における 樋渡地域の液状化現象

東日本大震災では津波だけではなく液状化による地盤現象が問題となりましたが、若宮地区樋渡地域の水田、道路でも墳砂や亀裂・沈降などの被害がありました。

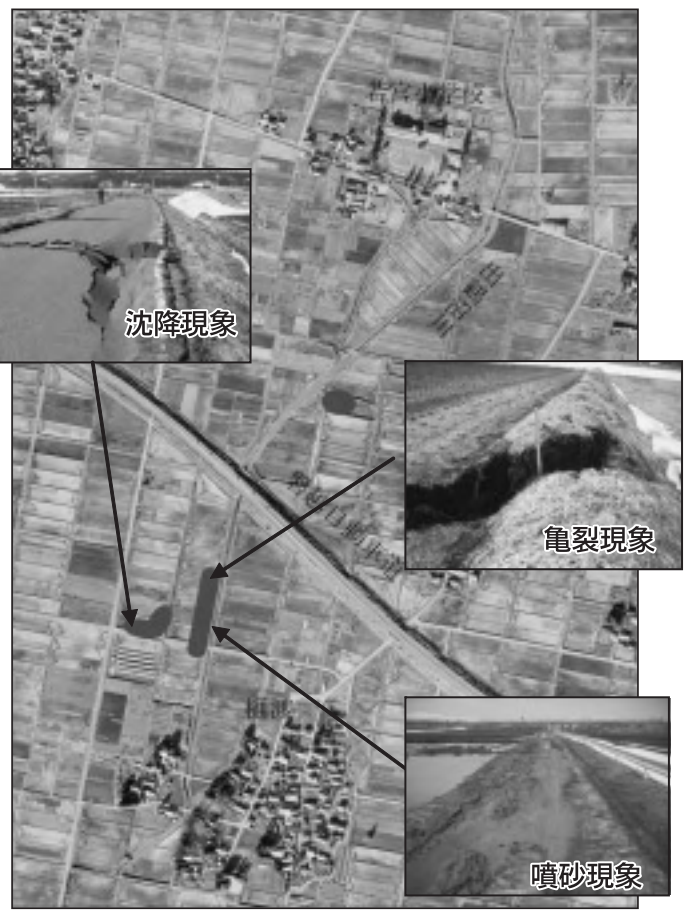
液状化は自然堤防斜面などの傾斜地盤、旧河道などの傾斜地下水層、人工地盤などの条件がそろえば発生しやすいとされています。現在の樋渡地域は長方形の水田が整然と並び一見明瞭な傾斜地盤や河道には見えず、段丘面上に広がり、液状化が発生しにくい地域のようにです。しかし、ほ場整備前の航空写真（左下写真）をみると、明らかに蛇行する旧出鶴沼川（いづるまがわ）の流路やそのはなん原、あるいは支流の谷部で、かなり入り組んだ地形であることがわかります。

これらの地形は、ほ場整備工事によって谷部が埋められたり、崖などに盛土が積まれたりして人工的に段丘化したものです。

噴砂が生じた水田やアスファルト道路の標高は202m〜205mですが、ほ場整備前と比較すると概ね2m〜3m土盛りがされまし



昭和22年（1947）航空写真（米軍撮影写真）



現在の航空写真（平成16年（2004）撮影）

た。土盛りされた人工基盤の地質は、軽石と同質の砂層が主体の軽石質砂層で、全体的に透水性があり固まりにくいものです。仮にこの地層の下に水を通しにくい層があれば、雪解けの頃には軽石質砂層は地下水で飽和して地震の際に液状化しやすくなります。このような理由で今回の大地震によって噴砂などの地盤現象が発生したと考えられます。

液状化は砂質基盤の一種の安定化するための過程とも言われますが、その過程が不十分な場合は再び発生することもあるとされています。

今回の大地震で被災されました方々にお見舞い申し上げますとともに、今後災害がないことを願うものです。

●噴砂

砂質の地下堆積物が液状化して流動化し、圧力の小さい地表へ地下水とともに噴出する現象。

●沈降

地下の堆積物が噴砂によって移動することによって発生する現象。

●亀裂

沈降によりその周辺部に発生する現象。

▼問い合わせ先

町史編さん室 TEL 83・2234

ばんげの 味 が 育てる その25 おいしい 楽しい 健やかライフ



会津坂下町では、学校給食センターを核として、幼稚園・小中学校・家庭・地域と連携を図りながら、食育を推進しています。そこで、今回は、中学校の食育を紹介します。

中学校では、学級活動や総合的な学習の時間での食育に関わらせていただいています。

学級活動では、1年生「夏休みの食生活」、2年生「部活動と食生活」、3年生「受験期の食生活」等の内容で成長期の食の大切さやスポーツと栄養、脳をしっかりと働かせるために効果的な食生活等について学んでいます。スライド等を用いながら学習し、各自の食生活を振り返り、改善目標を決めて実践し、食生活の改善が図られるよう取り組んでいます。

中学1年生が行った「夏を元気に過ごすための食生活チェック！」みなさんもお試してください。

当てはまる項目に○印をつけましょう。

1	朝食は毎日食べている。
2	好き嫌いなく何でも食べる方である。
3	給食でも家でも出されたものは残さず食べる。
4	野菜は毎食食べている。
5	休みの日の昼食もしっかり食べている。
6	糖分が多い飲み物は、あまり飲まない。
7	間食（おやつ）は、時間や量を考えて食べている。
8	夕食後は、お菓子やアイス類、ジュースはあまりとらないようにしている。
9	牛乳やヨーグルトなどの乳製品は、家でもよくとっている。
10	早寝・早起きを心がけている。

○が8以上・・・素晴らしい！
今年の夏も元気に過ごせるでしょう。
○が4～7・・・ちょっと心配。
○が3以下・・・夏バテ注意！まずは1日3食
しっかり食べることから始めましょう。



学級活動の様子

生徒が決めた実践目標を紹介します。

1年生「夏休みの食生活」では、

- ・好き嫌いなく食べ、野菜を毎食しっかり食べる。出されたおかずは全て食べる。
- ・水分補給をする時は、水やお茶などを選んで飲む。偏りのない食事をする。
- ・副菜を少しずつでもとる。お菓子は時間を考えて少なめに！好き嫌いなく食べる。

2年生「部活動と食生活『勝てる体をつくる食生活』」では、

- ・間食の摂り過ぎに気をつけ、3食バランスのよい食事にする。試合前の食事工夫する。
- ・スナック菓子や炭酸飲料をあまりとらないようにする。野菜をしっかり食べる。

総合的な学習の時間では、昨年度、一中の1年生は、「会津農林高校との豊かな食育体験事業」で高校生に指導をいただきながら大豆の栽培を行い、収穫した大豆を打ち豆や納豆に加工したり、打ち豆を使って会津の郷土料理「ざくざく煮」を作ったりしました。

学校給食センターでは、収穫した大豆を給食に使わせていただき、大豆入りキーマカレーにして小中学生で味わいました。



ざくざく煮を調理する中学生

中学生は、食の自立に向けて、「自分の健康を考えながら、自分で選んで食べることができるようになってほしい。自分で調理できるようになってほしい。」と願いながら食の授業に関わらせていただいています。



図書室だより Vol.15

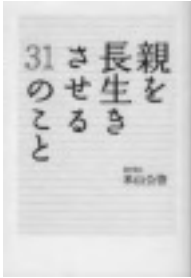
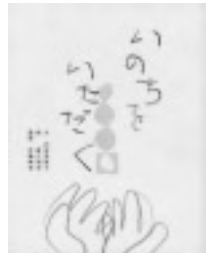
中央公民館図書室 TEL 83-3010 (定休日:第2火曜日)



おすすめ新着本・話題の本のご紹介

新着本は延長が出来ません。2週間以内にご返却ください。

紹介の本が貸出中のときは予約が出来ますので、カウンター職員までお申し付けください。

一般	親を長生きさせる 31 のこと	一般	かえる食堂のおやつの本
	米山公啓/著 アース・スターエンターテイメント 498. 38 分類ラベル よね		松本朱希子/著 扶桑社 W596. 65 分類ラベル まつ
9月19日は敬老の日ですね。本書は「親が死ぬまでにしたい55のこと」シリーズの第3弾で、いわば“親孝行実践編”の内容です。医学博士の著者が、親孝行をしながら寿命をのばすための方法を、具体的に紹介しています。		本書の副題は「祖母に教えてもらった懐かしくてやさしい味」。著者が子どもの頃、お祖母さんやお母さんにつくってもらったおやつの大切な記憶。そこから生まれた、芋や豆、りんごといった素材を生かした素朴で懐かしいおやつレシピ集です。	
こども	おはぎちゃん	こども	いのちをいただく
	やぎたみこ/作・絵 偕成社 E 分類ラベル やぎ		内田美智子/文、 諸江和美/絵、佐藤剛史/監修 西日本新聞社 K648. 22 分類ラベル うち
お彼岸に食べる甘くておいしいもの。春には「ぼたもち(牡丹餅)」、秋には「おはぎ(お萩)」といいます。縁側からころころと落ちてしまったおはぎの赤ちゃん。庭の生き物たちはその子を育てようとしますが…?		食肉加工センターにつとめる坂本義嘉さんの体験談をもとにした絵本。「命を奪い、いただき、生かされている」ことの意味を考えます。飽食の時代といわれ、また、食の安全性への関心が高まっている今、家族で読んでいただきたい一冊です。	

9月22日(金)は
10か月児検診の方を対象に
ブックスタートを実施します。

実施場所:健康管理
センター



◆ あづま号図書についてお知らせ ◆

9月28日(水)に、県の移動図書館「あづま号」が来館し、図書の入れ替えを行います。本の返却にご協力ください。なお、入れ替えのため、来館1か月前から新規貸出を停止させていただいております。貸出再開は10月1日(土)の予定です。